

2013年3月期
決算説明資料

 川澄化学工業株式会社

2013年5月10日

説明内容

2013年3月期 決算の概要

2014年3月期 通期の業績見通し

2013年3月期

2013年3月期決算の概要

<連結>

金額: 億円

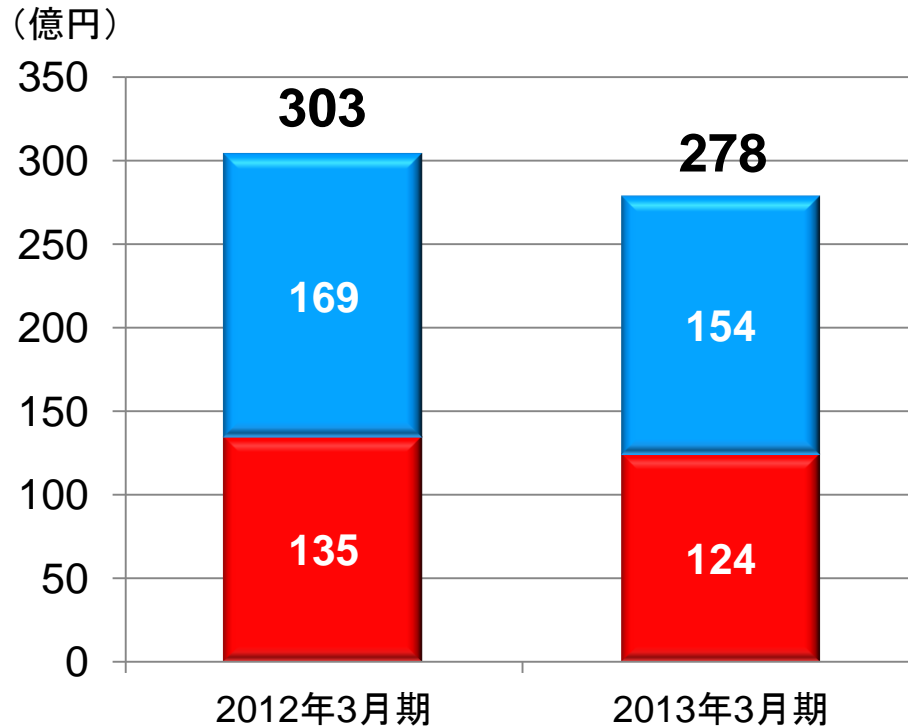
	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
売上高	303.5	278.3	△25.2	△8%
売上総利益	93.8	85.4	△8.4	△9%
営業利益	14.6	4.2	△10.4	△71%
経常利益	15.7	8.3	△7.4	△47%
特別利益	30.6	11.9	△18.7	△61%
特別損失	23.6	6.9	△16.7	△71%
当期純利益	15.0	8.2	△6.8	△45%

期中平均レート	2012年3月期	2013年3月期
US\$	79.18	83.32
EUR	112.33	107.39
Baht	2.58	2.72

- ・ 売上高は、血液浄化製品やAVF針が前期に比べ増加したものの、タイ洪水の影響を受けた血液回路や海外向け血液バッグの販売減、不採算品を整理したこと、国内向け血液バッグが販売先の在庫積み増しの反落影響を受けたことなどにより、前期に比べ約25億円の減少
- ・ 営業利益は、売上の減少や、タイ国内の賃金アップ、パーツ高によるコストアップなどにより、前期に比べ約10億円の減少
- ・ タイ洪水関連費用などを特別損失で約6億円、一部保険金収入を特別利益として約12億円を計上

2013年3月期

売上高(セグメント別)



体外循環関連 $\Delta 15$

～主な増減要因～

- ・AVF針 +4
- ・血液浄化製品 +2
- ・血液回路 $\Delta 20$ (内、不採算品の整理 $\Delta 8$)
- ・ダイアライザー $\Delta 1$

血液及び血管内関連 $\Delta 10$

～主な増減要因～

- ・国内向け血液バッグ $\Delta 4$
- ・海外向け血液バッグ $\Delta 4$
- ・不採算品の整理 $\Delta 1$
- ・カテーテル関連 $\Delta 1$

【体外循環関連】

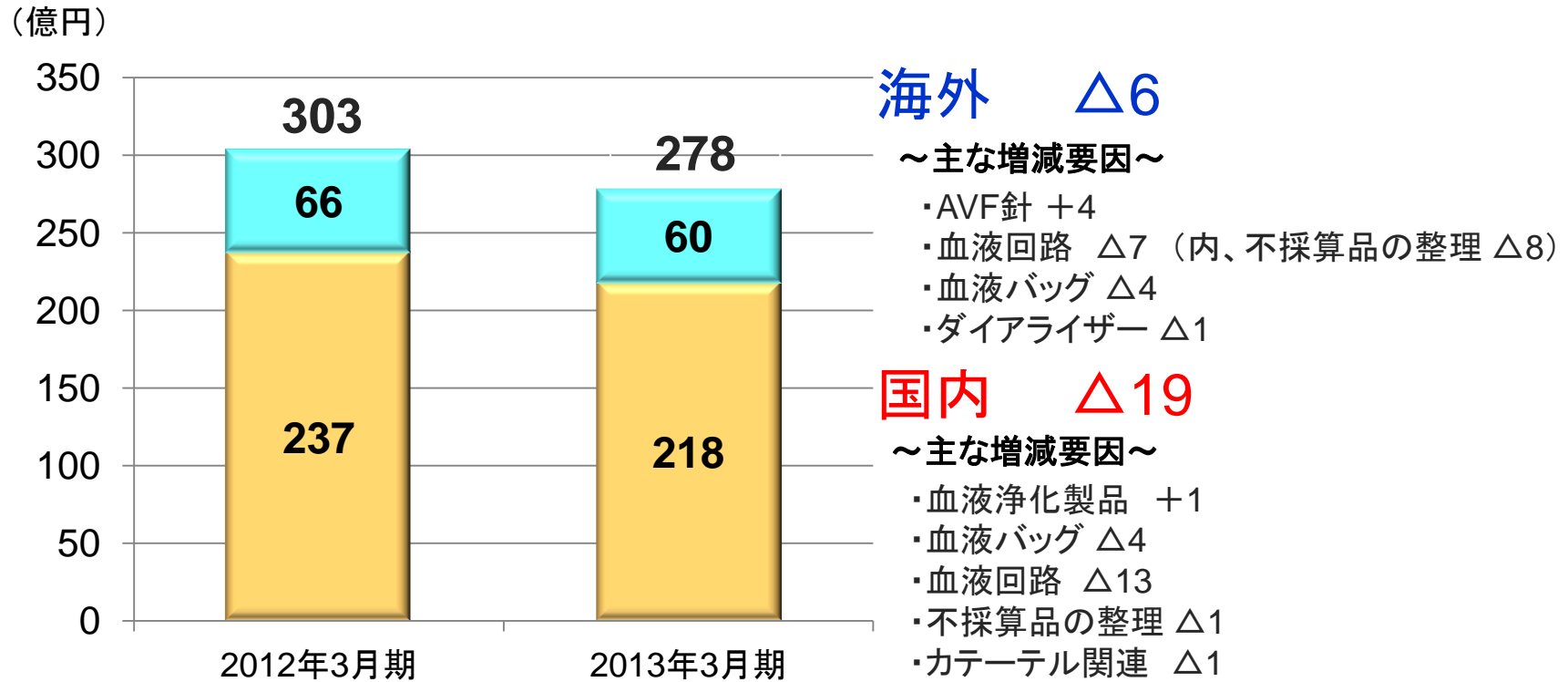
- ・AVF針、血液浄化製品が増加
- ・国内外の自社ブランド品の血液回路は、昨年4月にタイ国内工場での生産が再開するも、販売回復の途上であり、前期比で減少
- ・不採算品の整理により、米国向けOEM血液回路が減少

【血液及び血管内関連】

- ・昨年3月に販売先の在庫積み増しがあった反落で、国内向け血液バッグが減少
- ・海外向け血液バッグは、国内工場代替生産を継続しているが、供給数量が洪水前水準に及ばず、販売が減少

2013年3月期

売上高(国内外)



【海外】

- ・AVF針が増加
- ・不採算品の整理により、米国向けOEM血液回路が減少
- ・代替生産にともなう供給数量減により、海外向け血液バッグが減少

【国内】

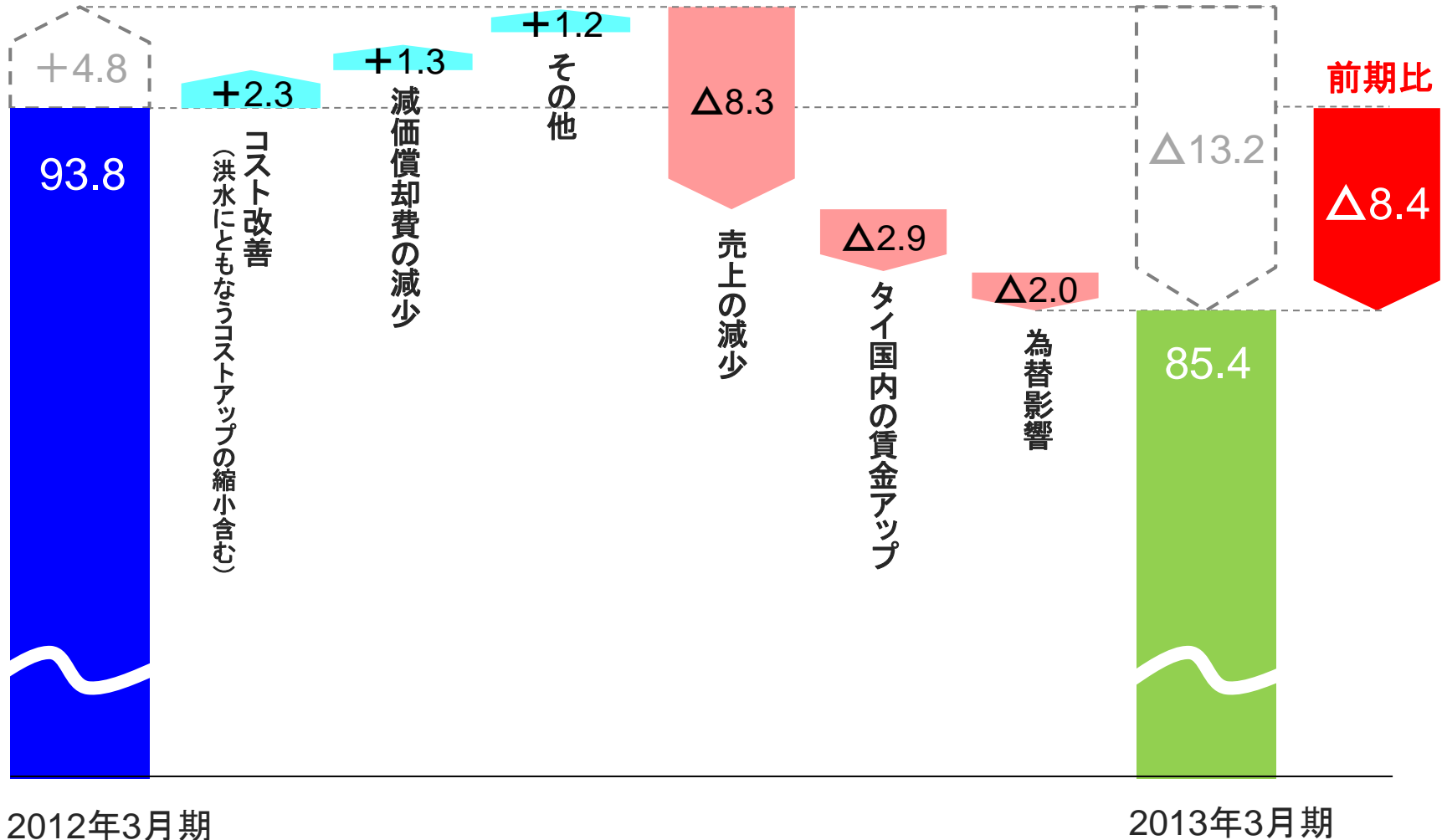
- ・血液浄化製品の販売が増加
- ・昨年3月に販売先の在庫積み増しがあった反落で、国内向け血液バッグが減少
- ・昨年4月にタイ国工場での生産が再開するも、販売回復の途上にあり、血液回路が前期比で減少

2013年3月期

売上総利益の増減要因

<前期比>

(単位:億円)



2012年3月期

2013年3月期

販売費および一般管理費

<連結>

金額：億円

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
人件費	29.4	29.4	0.0	0%
運送費	11.8	11.2	△0.6	△5%
研究開発費	9.2	10.4	1.2	13%
その他	28.8	30.2	1.4	5%
合計	79.2	81.2	2.0	3%

- ・運送費は、出荷量の減少などにより前期比で減少
- ・研究開発費は、癒着防止材の治験開始などにより前期比で増加
- ・その他、販売促進や洪水復興に向けての活動費用などが前期比で増加

説明内容

2013年3月期 決算の概要

2014年3月期 通期の業績見通し

2014年3月期

2014年3月期の見通し

<連結>

金額:億円

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率
売上高	278.3	288.0	9.7	4%
営業利益	4.2	7.0	2.8	67%
経常利益	8.3	7.0	△1.3	△16%
当期純利益	8.2	5.0	△3.2	△39%

	2013年3月期	2014年3月期
US\$	83.32	93.00
EUR	107.39	120.00
Baht	2.72	3.12

・売上高は、洪水影響を受けた国内向け血液回路の販売回復や新製品であるステントグラフトの販売開始、血液バッグの増販などのプラス要因と、OEM先の在庫調整などのマイナス要因などにより、前期比で約10億円増の288億円の見込み

ご注意

本資料中の将来にわたる記述は、現時点での推測・予測に基づくものであり、潜在
的リスクや不確実性が含まれております。このため、将来の業績について保証するも
のではなく、実際の業績が、経営環境の変化等により予測と異なる結果になることが
ありますことをご承知おきください。

The logo for Kawasaki Chemical Industry Co., Ltd., featuring a stylized 'K' inside a circle.

川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社

経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : webmaster1@kawasumi.jp